

サイレントマフラー 取付要領書

このたびは、エムズリアライズ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、サイレントマフラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンが、かかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
必ずマフラーが冷えた状態を確認し作業を行ってください。
また、怪我、火傷を防ぐために耐熱性のある手袋や作業着を着用し行ってください。
- マフラーの交換は整備の整った自動車整備工場で専門の教育を受けた整備士が行ってください。
専門外の方が作業すると怪我や火傷の恐れがあり危険ですので専門の整備工場に作業を依頼してください。
- ⑧重要 ■排気系の部品は錆びてボルトナットが緩みにくい場合があります。無理に緩めようとするとう部品破損の原因にもなりますので、潤滑剤を塗布するなど、適切な工具を使用して無理のない作業を行ってください。
- ⑧重要 ■マフラー交換は必ず自動車作業用リフトを使用し自動車が安全に固定している状態で作業を行ってください。
- ⑧重要 ■純正マフラーハンガーに、ひび割れ、亀裂等の老化が生じている場合は、落下防止のため必ず新しいハンガーに交換してください。
- ⑧重要 ■本製品は、テールTIPの外径が純正サイズより大きくなっています。
そのため車両のバンパーやディフューザーの組付け具合による個体差によってテールTIPがディフューザーに干渉する場合があります。その場合はエキゾーストマニホールド、ミドルパイプ、触媒、センターパイプ等の組付け調整により取り付け位置を調整することが出来ます。
- ⑧重要 ■取付けの際は油汚れや手あか等が付着していると、ステンレス材のムラ焼け原因となります。付着した場合は柔らかい布やブレーキクリーナーを併用し脱脂してください。

取付け完了後の点検・注意事項

(作業員・使用者の方へ)

- エンジンが動いている時、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは高温になっています。特にテールTIP部に触れないよう十分に注意してください。触れると火傷する危険があります。お子様には、車両ディフューザーに近寄らないよう特に注意してください。また、トランクから荷物を出し入れする場合も、衣類が車両ディフューザーに接触したりしないよう十分に注意してください。
- 本製品を装着すると排気効率が改善され自動車の性能が向上する場合があります。ブレーキの整備を行い、制動能力を確認してから安全に運転してください。
- 本製品は、自動車の標準地上高で、路面とのクリアランスが確保できるよう設計されています。車高を極端に下げる改造を行うと、路面や駐車場などの突起物に接触しマフラーの損傷または接触物を損傷する恐れがあります。また損傷部から排気ガスが漏れる可能性があります。
- マフラー取付け後、100km走行時、500km走行時、各部の干渉や接続状態を確認してください。もし、異常がある場合は、速やかに販売店にて整備を行ってください。
- 走行中、異常が発生したと思われる場合は直ちに安全な場所に車を停車し異常箇所を点検してください。
- 本製品は耐久性を考慮して厳選した材料を使用し厳重な品質管理のもと製造していますが、自動車の使用条件が悪いと早く腐食し穴が開くことがあります。
- マフラーは消耗品です。経年変化等により本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
- ジムカーナやサーキット走行など特殊な用途での使用は製品の耐久期間を著しく低下させますのでお止めください。
- 本製品はステンレス素材を使用していますが、綺麗な状態を保つためには日頃の手入れが必要です。
- ステンレス素材の色焼けは素材の特性ですので予めご承知おきください。

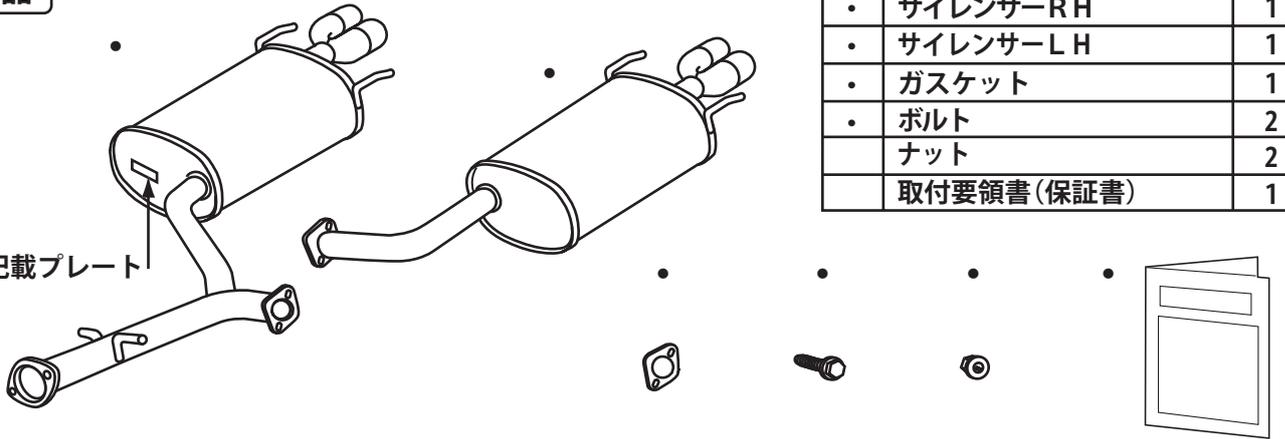
マーク X サイレントマフラー

サイレントマフラー (品番: MR-GRX12#-MF1)

構成部品

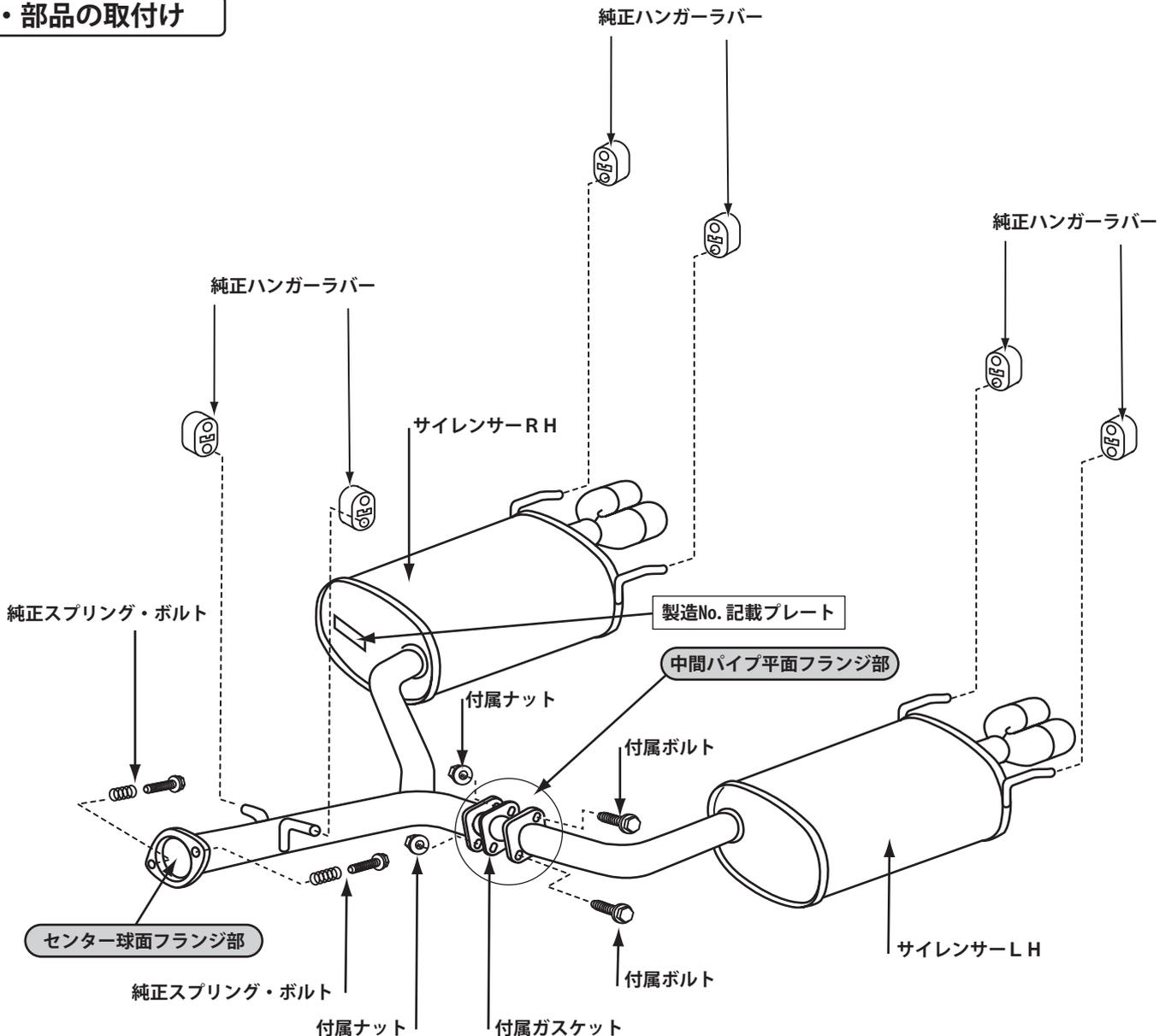
No.	品名	個数
・	サイレンサーRH	1
・	サイレンサーLH	1
・	ガスケット	1
・	ボルト	2
	ナット	2
	取付要領書(保証書)	1

製造No. 記載プレート



取付手順

・部品の取付け



・部品の取付け

1. 純正リヤマフラーを取外す。
2. サイレンサーRHを純正ハンガーラバーに装着し、純正スプリング・ボルトで仮固定する。
3. サイレンサーLHを純正ハンガーラバーに装着し、付属のガスケット・ボルト・ナットで仮固定する。
4. テールTIP部のディフューザーとのスキ間、バランスを確認しながら、各ボルト・ナットを本締めする。
5. 本体に付いた油分、汚れ等を拭き取る。（焼けムラ防止のため）
6. エンジンを始動し、各部の排気漏れ、車体等への接触、ハンガーラバーの状態等を確認する。
7. 最後にもう一度、がたつき・ぐらつきがないか確認し、約100km走行後増し締めする。



アドバイス

- ・角度調整は、センター球面フランジ部、および、中間パイプ平面フランジ部で行います。
- ・エキゾーストマニホールド、ミドルパイプ、触媒、センターパイプ等の組付け調整により取付け位置を調整することも出来ます。

・整備基準要領書のトルク表

呼び径	ネジ直径	ネジピッチ	標準締め付けトルク（潤滑なし）			
			標準ボルト		フランジ付	
			N-m	kg-m	N-m	kg-m
M6	6.0	1.0	5.1	0.52	6.1	0.62
M8	8.0	1.25	13	1.3	15	1.5
M10	10.0	1.25	25	2.6	30	3.1
M12	12.0	1.25	46	4.7	56	5.2

⚠ 注意

- ・ボルトナットの締め付けトルクは、整備基準要領書のトルク表に基づいて行ってください
- ・自動車メーカー純正ボルト、ナットを使用する場合は、自動車メーカーの指定するトルクで締め付けを行ってください

保安基準適合証明

* 商品が取付状態を含め、本書の記載内容と相違ないことをご確認ください。

<製品の仕様>

1	品名	サイレントマフラー
2	名称	マフラー
3	商品番号	MR-GRX12#-MF1
4	適合車種	GRX12#
5	販売元	エムズリアライズ

<検討試験内容>

試験名	項目	項目	判定
自動車騒音試験	近接排気騒音	96ホン以下	適合

当製品が上記通り保安基準適合品であることを証明いたします。

■ 継続検査(車検)等に際してのご注意

当商品装着後、以下の場合は保安基準適合品として取り扱えず、継続検査(車検)等の際は不合格となります。

- ① 商品が当社の指定する方法により、正しく装着されていない。
- ② 劣化・破損等により本来の形状・取付状態・性能を維持していない場合。
- ③ 商品に加工・改造等を施している場合。